

# 健康と文化の森地区まちづくり基本構想

平成27年3月

藤沢市



## はじめに

藤沢市の西北部地域（遠藤地区・御所見地区）では、めざすべき将来像（まちづくりの目標）を「農・工・住が共存する環境共生都市」とし、これまでの農業地域の位置付けに加え、大学等知的社会基盤を活用した研究開発機能等を地域特性である田園・農業空間に導入し、活力ある環境共生型の都市の形成をめざすとしております。

その中心となるのが本市の都市拠点の一つである「健康と文化の森」です。健康と文化の森地区は、6つの都市拠点の中で唯一市街化調整区域内に位置しており、これまでに、開発許可制度や市街化調整区域内地区計画制度を活用し、平成2年には、文化の森地区に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスが開設され、その後、平成13年には健康の森地区に看護医療学部、平成18年には慶應藤沢イノベーションビレッジ等が立地し、また平成24年には慶應義塾大学に隣接する打越地区で組合土地区画整理事業が完了し、更なる学術研究施設などの立地が予定されております。

一方、いずみ野線延伸については、神奈川県、藤沢市、慶應義塾大学、相模鉄道(株)の4者で構成された「いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」において、ツインシティまでの延伸をめざしつつ、湘南台駅から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近までを第1期区間として検討を進め、平成24年3月に単線の鉄道で延線し、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近にはB駅（新駅）の設置を想定する等の検討結果をとりまとめました。

このように、B駅設置が想定される本地域において、田園空間に囲まれた環境のもと、学術・研究、活力増進機能の創出、良好な居住環境の整備など、新たな都市拠点にふさわしいまちづくりについて、専門家や関係行政機関等で構成される「藤沢市健康と文化の森地区まちづくり基本計画策定検討委員会」を設置し、市民、地権者及び地域団体等で構成する「藤沢市健康と文化の森地区まちづくり協議会」と連携して検討をすすめ、「健康と文化の森地区まちづくり基本構想」をとりまとめました。



# 目 次

---

1	健康と文化の森地区の位置づけと概況.....	1
2	まちづくりに向けた課題整理 .....	22
2-1	健康と文化の森地区の特性や優位性 .....	22
2-2	まちづくりに向けた課題 .....	27
3	まちづくりのビジョン .....	30
3-1	地区のめざす姿 .....	30
3-2	まちづくりの方向性 .....	34
4	土地利用構想・交通体系 .....	58
4-1	土地利用構想 .....	58
4-2	交通体系の方針 .....	67
5	今後の進め方 .....	69
	資料 .....	71

